

感染性胃腸炎の流行に備えましょう!



県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↗ 2	1	百日咳	→ 0	0
RSウイルス感染症	↗ 55	46	ヘルパンギーナ	↗ 36	24
咽頭結膜熱	↘ 16	19	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↗ 47	44
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗ 49	42	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↗ 382	337	流行性角結膜炎(はやり目)	↘ 47	68
水痘	↗ 6	4	細菌性髄膜炎	↘ 0	1
手足口病	↘ 89	105	無菌性髄膜炎	↘ 1	2
伝染性紅斑(りんご病)	↗ 62	49	マイコプラズマ肺炎	↗ 10	7
突発性発しん	↘ 27	32	クラミジア肺炎	→ 0	0
			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	→ 0	0

報告が多い感染症

- 感染性胃腸炎
- 手足口病
- 伝染性紅斑

大きな流行が発生又は継続しつつある地域

- 手足口病 : 菊池、有明
- 流行性角結膜炎 : 天草、熊本市
- 伝染性紅斑 : 天草、菊池、八代

保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)
熊本市保健所	1	29	3	18	70	1	15	23	10		3	5		34			7		
山鹿保健所					15		2		3		1	6	*	*					
菊池保健所		8	7	9	76	2	34	10	6		13	1		2					
阿蘇保健所					3			1					*	*					
御船保健所				2	27								*	*					
八代保健所		6	3		18		3	8	4		5								
水俣保健所	1	3			6							1	*	*			1		
人吉保健所		1		2	13		1	2				8	*	*		1			
有明保健所		3	2	9	87	1	28	2	2		7	20		3			2		
宇城保健所		4		4	47	2	4	1	1		2	6	*	*					
天草保健所		1	1	5	20		2	15	1		5			8					
計	2	55	16	49	382	6	89	62	27	0	36	47	0	47	0	1	10	0	0

年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)

インフルエンザ定点	合計	0~5 ヵ月	6~11 ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上
インフルエンザ	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
小児科定点年齢	合計	0~5 ヵ月	6~11 ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上						
RSウイルス感染症	55	5	9	23	13	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
咽頭結膜熱	16	0	1	5	1	2	3	1	1	0	0	1	1	0	0						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	49	0	0	0	2	4	13	5	8	5	3	4	3	1	1						
感染性胃腸炎	382	6	47	76	41	38	30	24	25	12	12	17	32	7	15						
水痘	6	0	0	0	2	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0						
手足口病	89	2	15	44	14	6	2	0	0	2	0	2	1	0	1						
伝染性紅斑	62	0	0	3	5	3	15	13	9	5	4	5	0	0	0						
突発性発しん	27	0	9	15	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
ヘルパンギーナ	36	0	10	18	4	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0						
流行性耳下腺炎	47	0	0	2	6	10	8	6	7	3	1	2	1	0	1						
眼科定点年齢区分	合計	0~5 ヵ月	6~11 ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	47	1	0	6	2	2	2	2	0	2	0	1	1	2	3	8	7	1	4	3	3
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	10	1	3	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

伝染性紅斑(りんご病)が再び増加しています

伝染性紅斑は、5歳~9歳の学童に最も多く発生し、ついで0~4歳に多く見られる感染症です。  
 本県では、6月中旬(第25週)頃から増加し、全国的にも多く発生しました。9月に入りいったん減少しましたが、10月に入り、再び増加傾向を示しています。第41週においては、天草、八代、菊池の3地点において国の警報レベルを超えました。  
 患者は1歳~9歳に限定しています。  
 伝染性紅斑は、頬がりんごのように赤くなるので、りんご病とも呼ばれています。頬に発疹が出る7~10日くらい前に、微熱やかぜ症状などが見られることが多く、この時期、咳をした時のしぶきやくしゃみで感染します。発疹が現れ、頬が赤くなる頃には、感染力はほぼ消えるといわれています。1週間くらいで治まることが多いですが、大人がかかると関節痛や関節炎を伴うことがあります。  
 妊婦の場合、感染すると流産の可能性もありますので、流行時には人混みを避けて、ていねいな手洗い励行などの対策をとりましょう。

